

29.7.31 遠賀郡中間市 養護教諭研修会 報告

平成29年7月31日(水)遠賀郡岡垣町の「岡垣サンリーアイ 視聴覚室」での「遠賀郡中間市学校保健会養護部会 夏季研修会」に講師として参加してきました。夏休み中の研修ということでしたが30名ほどの小中学校の養護教諭の先生方が参加され熱心に研修に取り組まれていました。事前に質問を頂いていたのでその部分の説明にほとんどの時間が費やされ最後まで十分お話をすることが出来なくて大変申し訳なく思いました。また、次回このような機会がいただければ幸いです。今回お話をいただいた遠賀南中の芳村先生や部会長の森永先生には大変お世話になりました。

講演の内容

1. はじめに
2. 頂いていた質問について
3. 不登校は不利益
 - ・勉強の遅れ
 - ・他人と接する機会の減少
 - ・自己肯定感の低下
 - ・「不登校」のレッテルが解決を難しくする
4. 子ども目線と大人目線
 - ・大人の対応とこどものとらえ方・・・考え視点の違い
 - ・こどもから大人の考え方は理解しづらい(経験の違い)
 - ・大人からこどもの考え方はもどかしい(どうしても従わせようとしてしまう)
5. 不登校って誰の責任
6. こどもを取り巻く環境
7. おわりに

教師として 養護教諭として

- : まずは親のメンタル面の安定を図る(外堀、環境から整える)
- 支援の必要なところに支援する
- : 学校から逃げる(不登校) 親・家庭から逃げる(引きこもる)
- なるべく逃げなくても良い環境を整える。逃げるのはその理由がある。
- : スモールステップとしての工程図(実現可能な)の提示
- : 本人の伝えたいことを通訳して周囲(親・先生・周囲のこども)に伝える(逆有り)
- : 抱え込まない。利用できる社会資源(病院・sc・相談センター・塾・・・)